

# 台湾新聞

## TAIWAN NEWS ◆ 2017年7月3日号 東京発行 NO.243

発行元：株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 http://www.taiwannews.jp E-mail:info@taiwannews.jp  
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回：3,500円(税込) / 24回：7,000円(税込) ●郵便振替：00140-4-594168



## 日台観光サミット開催 日台相互往来客数700万人実現に合意

日台観光推進協議会(山口範雄会長)と日台観光推進協議会(葉菊蘭会長)主催の「2017年日台観光サミット in 四国」が6月1日、かがわ国際会議場で開催され、議長を務めた山口会長は、2020年に向けて日台相互往来客数700万人を着実に実現させ、800万人、900万人とさらなる高みを視野に入れて努力していくと述べた。



今年で10回目の開催となった同サミット。今年は「2020年日台双方交流ビジョンの実現に向けて」をテーマに、日本と台湾の旅行関係者合わせて50人が意見交換を行った。今後の双方向交流増加実現に向けた具体的な事例として、鉄道や温泉などに関する企業や地方都市間の相互交流の促進、双方向でのクルーズ旅行の促進、また、体験型のイベントを増やしていくほか、グルメをキーワードとした物産展での食の魅力の発信などが挙げられた。

山口会長は、日台観光の現状について、「同サミットは2008年に第1回が開催されて以来、友好交流を維持し、ともにウィンウィンの信念を創り上げてきた結果、日台相互往来客数が2008年当時の260万人から630万人までに拡大した」と発表した。しかしながら、訪台する日本人観光客は約189万人にとどまり、その理由の1つとして台湾観光局東京事務所所長の鄭徳清氏は、「日本人のパスポート所持率が諸外国と比較して圧倒的に少なく、日本人全体の人口の約23%との統計が出ている」と指摘。従って、まずは多くの日本人にパスポートを所持するよう促進していきたいと強調した。また会議中に日本側から、台湾の地方都市へ行くインフラ問題が挙げられ、中東や高雄から地方に行くアクセスを充実させてほしいと指摘された部分もあった。

これに関連し台湾側は、台湾地方旅行誘致の具体例として、台湾1周ができるバスを提供し、さらにそのバスを使用すれば観光地で優待を受けられるサービスの実施、また、地元ならではの文化や食を体験してもらうような企画を作り、自分自身で選んで組み立てていくツアーの実施などを挙げ、地方への観光客増加を目指していくとした。

また、林市長は台湾記者団らのインタビューに対し、「2018年に行われるフローラ世界博覧会(以下：花博)を誘致しに四国に来た。現在日本人が台湾に旅行へ行くとしても台北が高雄が大半を占めるため、観光客数を伸ばすためにも花博のほか、台中の有名観光地である高美湿地や谷関温泉などにも来てほしい。来年観光客増加を見越して飛行機も増便できるようにしていきたい」とコメントした。

一方日本側は、訪日する台湾人観光客の6割が、東京などの大都市ではなく、地方への旅行との統計が出ているという。現在日本の大部分の航空会社では、トランジットで国内線に乗り継ぐ場合、別の航空会社やクルーズ船を利用した場合でも、優待価格を利用できるサービスをすでに実施しており、今後はさらに地方への観光客を伸ばしていきたいとした。また、訪台する日本人観光客の男女年齢別の調査において、若い女性は台湾に旅行する傾向があるが、男性は中年層に集中しているとの結果が出ており、今後は若年層男性をターゲットにスポーツイベント交流などを企画し、目標達成を目指していくとした。

また、林市長は台湾記者団らのインタビューに対し、「2018年に行われるフローラ世界博覧会(以下：花博)を誘致しに四国に来た。現在日本人が台湾に旅行へ行くとしても台北が高雄が大半を占めるため、観光客数を伸ばすためにも花博のほか、台中の有名観光地である高美湿地や谷関温泉などにも来てほしい。来年観光客増加を見越して飛行機も増便できるようにしていきたい」とコメントした。

同サミットに先立ち5月31日、浜田知事と高松市大西秀人市長主催の歓迎晩餐会がJRホテルクレメント高松で行われた。葉会長は来賓の挨拶で、松山市と台北市が2014年10月、香川県と桃園市が2016年7月、高松市と基隆市が2017年5月にすでに友好協定を提携している事に言及したほか、2013年3月に高松空港から桃園空港の直行便が就航してより、毎日大勢の台湾人が四国を訪れており、近年における交流が盛んであると話した。今では台湾人が新しく行きたい観光地として四国が含まれているとの事。しかし、日本から台湾に行く観光客が少ないとの問題に葉会長は「同サミットで、我々が直面している観光における課題をシェアし一緒に解決し、双方地方間での観光や経済面の交流を促進

また、台湾一行は、徳島県祖谷温泉ホテル秘湯の湯で6月1日、徳島県の飯泉嘉門知事らと、また、2日には道後温泉大和屋本店で愛媛県の中村時広知事と松山市の野志克仁市長らと交流を図った。

飯泉知事は、徳島名物の「鳴門金時」が台湾へ輸出され、多くのデパートで販売されている事や、台湾人野球選手の張泰山が昨年度四国アイランドリーグ plus 徳島インディゴソックス球団に入団していた事に触れ、台湾と徳島の交流が盛んであるとし、「同サミットや、観光地視察を通じ、台湾と四国のさらなる交流を期待したい」と述べた。一方中村知事は「台湾には強い思い入れがあり、ただ人と人との交流だけではなく、真の友情や真の相互交流を作っていく」と話したほか、「松山市」と同じ地名を持つ事や、日本統治下時代の台湾から甲子園に出場した実在チームを描いた大ヒット映画「KANO 1931 海の向こうの甲子園(以下：KANO)」の嘉義農林学校野球部の近

藤兵太郎監督の生誕地が愛媛県松山市である事を述べ、台湾と愛媛の縁について語った。なお、同晩餐会のスペシャルゲストとして、KANOで近藤兵太郎役を務めた日本人俳優「永瀬正敏」と、投手のアクア役を務めた台湾人俳優「曹佑寧」が駆けつけ、特別談話を繰り広げた。

また、謝長廷代表や代表処幹部らは5月30日、高知県庁を訪問し、高知県の尾崎正直知事と台湾と高知県の今後の交流について会談した。

謝代表は、近年台湾の観光客は単なる旅行ではなく、テーマを決めた観光が流行している事に言及し、「台湾で坂本龍馬は人気あり、明治維新で活躍した坂本龍馬のふるさとが高知県である事は多くの台湾人が知っている。このような歴史を通じての交流も期待し、誘致していきたい」と話した。

一方尾崎知事は、近年高知県と台湾の交流が拡大しており、高知県に来る外国人観光客の約3割が台湾人である事を強調した。また、訪問後に行われた懇親会では、高知県発祥の踊り「よさこい」を、6年間連続で台湾ランタンフェスティバルの前夜祭ステージで披露したり、台湾新竹の小学生が高知県に来て、よさこいを披露したりとさまざまな交流が行われている、と話した。また、防災関連産業の一環として高知県の防災技術を紹介するセミナーを台湾開催したり、中華民国三三企業交流会でプレゼンテーションを行ったりしている事にも言及し、「今後はこのような経済における交流も伸ばしていきたい」と主張した。



スペシャルゲストとして永瀬正敏(右)と曹佑寧



高知県庁訪問謝長廷代表(左)・尾崎正直知事

## 「日台鉄道観光フォーラム」開催～友好の路線は海を越えて～



パネルディスカッション、東武トップツアーズ 坂巻伸昭社長が意見発表

日台間のさらなる鉄道交流に向けて話し合う会「日台鉄道観光フォーラム」が6月2日、愛媛県西条市総合文化会館で開催された。同フォーラム開催は今回が初めて。同フォーラムは「日台観光サミット in 四国」に合わせて開催され、主催の日本旅行業協会の田川博己会長のほか日本側からは、観光庁の本保芳明参与、観光庁国際観光課の川口和哉課長補佐、愛媛県の中村時広知事、四国旅客鉄道の泉雅文会長、京浜急行電鉄の石渡恒夫会長ら、台湾側からは台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、台湾観光協会の葉菊蘭会長、交通部観光局の周永暉局長、台湾高速鉄路営業部の孫鴻文副マネージャーら合わせて約100人が出席し、今後の日台鉄道の交流に期待を示した。同フォーラムでは現在までの基調及び事例報告のほか、「更なる鉄道交流の拡大に向けて」をテーマに、東武トップツアーズの坂巻伸昭社長、江ノ島電鉄(以下：江ノ電)の天野泉社長、開発旅行社梁榮堯社長、台湾鉄路管理局の鍾清遠副局長がパネルディスカッションを行った。なお、コーディネーターは愛媛大学の米田誠司准教授が務めた。

同フォーラムは、台湾の鉄道が日本統治時代に建設された事により日本と台湾の鉄道はゆかりがあり、さらに日本と台湾の鉄道の発展プロセスが似ている事から、人材、技術、運営の交流を行い、ノウハウを共有する事で相互のレベルアップを図るとしている。また、近年ではスローライフが主流となり、鉄道に乗りながらゆっくり景色を見て楽しむなど、鉄道は単なる交通手段だけではなく、観光やコミュニケーションの一部となっており、相互のローカル電車の魅力を知る事で、観光客誘致に繋がっていくとの期待も込められている。

### 登壇者、日台観光の課題と期待に言及

基調報告で泉会長は、愛媛県松山駅と台湾松山駅は2013年10月友好協定の締結以来、日本人社員が台湾へ鉄道技術の研修などの交流を行ってきた事に触れ、今後も友好協定を継続し、交流事業を引き続き行っていくほか、さらなる鉄道交流に向け、ローカル線では「わざわざ乗ってもらう」をテーマに、アンパンマンなど個性的な電車を入れる事で台湾観光客を誘致し、同時に地方の活性化を促進していくとしている。また、江ノ電の天野社長によると、江ノ電と支線平溪線は2013年4月に観光協定を結んでより、一日周遊券の相互無償交換を実施し、約1万6000人の台湾観光客が日本で同周遊券を使用した結果となったが、日本旅行客はわずか1000人ほどだった事を報告した。これは、日本の交通チケットは高く、台湾観光客からすると「お得感」があるが、台湾の交通チケットはもともと安いため、日本人への効果が薄く、日本からのアウトパウンドには優待券以外のプロモーション活動を行わなければならないと主張。

一方鍾副局長は、台湾鉄道が1888年に開通してより130年が経ち、遺跡のようなレトロな駅があるため、今後は鉄道のリソースとして博物館などで歴史的文化遺産を受け継ぐ事も、観光客誘致に不可欠であると指摘。そのためにはメンテナンスのできる人材育成にも力を入れていくべきだと指摘し、「日本はメンテナンス力も高いため、今後は互いに連携を取りながらニーズに合わせて、協力していく事も必要」と強調した。



DF50形1号機の前で記念撮影。左から、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、台湾観光協会の葉菊蘭会長、交通部観光局の周永暉局長

TOPIC

日本語版	
●東京スター銀行佐藤頭取に聞く	2面
●noovyが教える現地のオススメ観光スポットとグルメ!	6面
中国語版	
●推廣台灣 台灣FAIR大宮丸井登場	3面
●阪神甲子園球場台湾日 台湾観光協会聯合虎航飛行館台湾	4面
●日本台湾祭	8面

WEBでもニュース記事が読めます  
http://blog.taiwannews.jp/

南国料理で宴会プラン楽しく歓迎迎会!!

予約電話: (03)5215-2537

お知らせ

台湾新聞社はこのほど、これまでの有限会社台湾新聞社から株式会社台湾新聞社に法人格及び社名の漢字表記の変更を行い、本年6月1日より新たにスタート致しました。台湾新聞社の創立は1999年3月10日。今年で19年目を迎えております。前身の媒体の創刊期1995年9月から数えますと本年で22年になります。これもひとえに読者様をはじめ皆様からの温かいご愛顧の賜物です。謹んで感謝申し上げます。弊社はこれを機に、台湾と日本の架け橋となる媒体としての姿勢の一層の深化を目指します。単なる名称変更だけでなく、心機一転、新たな気持ちで取り組んでゆく所存です。これからの「台湾新聞社」にご期待下さい。

社主 錢妙玲

台湾新聞  
「暑中お見舞い名刺広告」  
ご出稿のお願い

台湾新聞では、8月7日発行の244号にて「暑中お見舞い名刺広告」を掲載致します。是非この機会に時候のご挨拶とともに、各団体・企業のイメージアップ・PR効果としても、ご利用お役立てください。ご出稿を心よりお願い申し上げます。

掲載料  
□1枠(縦79mm×横58mm)2万円(税込)※デザイン固定  
□2枠(縦79mm×横118.25mm)3万円(税込)  
2枠の場合は完全データでの入稿をお願い致します。  
(オリジナルデザインで作成ご希望の場合、別途1万円頂きます)

お申込み締切日:2017年7月14日(金)

申込先:株式会社 台湾新聞社  
TEL:03-5917-0045  
FAX:03-5917-0047

EVA AIR  
A STAR ALLIANCE MEMBER

エバー航空  
航空業界 最高評価  
SKYTRAX 5スターエアライン

エバー航空についての  
おトクな情報誌  
こちらを手チェック!

# パナマと中国が国交樹立、台湾との断交を表明

パナマ共和国のイサベル・サンマロ副大統領兼外相と中国の王毅外相は6月13日、北京で国交樹立協定に調印し、このなかでパナマ側は、台湾が中国の一部である事を認め、台

湾との即時断交を表明した。一方台湾外交部の李大維部長は同日、台北市内で記者会見を行い、パナマとの断交を発表した。李部長は「パナマが経済利益のために屈従してしまった事に対し強い憤りを覚え、遺憾に思う」と述べ、即日よりパナマに対する援助を全て停止する旨を表明。蔡英文総統政権から1年と2ヶ月、昨年のサントメ・プリンシペとの断交に続いて2ヶ国目となった。

なお、蔡総統は同日開いた緊急記者会見において、「中国当局の間違った思想と挑発は、兩岸関係の平和構築に対抗している」と強く強調したほか、「脅迫されても決して妥協、譲歩しない」と述べた。

一方、日本の日本中華聯合總會や全日本台湾連合会ら多数の在日台湾華僑団体が中国との国交樹立に対し、抗議の声明文を発表している。

## 日華議員懇談会も「台湾支持」表明

日華議員懇談会(平沼超夫会長)の衆議院議員・衛藤征士郎副会長は6月15日、ザ・キャピトルホテル東急(千代田区)で行われた同会の総会において、パナマが台湾との断交を表明した事に言及し、同会は「台湾支持」との旨

を主張した。また、「日本・パナマ友好議員連盟」に加盟していたある議員がこれに抗議し、離脱した事実を伝え、「パナマが台湾と断交した件に『けしからん』と思う国会議員が多数いる」と強く主張した。さらに、「現在世界、特にアジアの情勢が不透明であり、この状況下においても日本と台湾の関係は極めてクリアである。今後、日台関係を高めていくためにも、努力していきたい」と述べた。

また、総会に出席していた台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表は、「驕れる者久しからず」との日本語のことわざを用いて、「個人の意見として、中国大陸がさまざまな手段を通して台湾の国際空間を圧迫し続ける事は、台湾国民の反感を買うばかりだ」と強調したほか、「一日も早く平和へ方向転換する事を期待し、駐日代表として全力を尽くし、今後も日台は協力し合っていきたい」と述べた。



衛藤征士郎副会長  
台湾支持を主張



全日本台湾連合会声明文

# 永住権のない外国人に住宅ローン貸し出しを 東京スター銀行佐藤頭取に聞く



佐藤誠治頭取に  
台湾新聞がインタビュー

東京スター銀行は2014年6月、台湾の中国信託商業銀行(以下:CTBC)の傘下に入った。それ以降、毎月の取締役会をはじめ、部署同士のミーティングも頻繁に行われ、双方間でのコミュニケーションも活況を呈す。CTBCは日本市場を攻め、一方東京スター銀行はCTBCが持つ全ての海外のネットワークを駆使して事業領域の拡大や新規事業分野への進出を図る。この状況下、今年4月に取締役兼代表執行役頭取に就任した佐藤誠治頭取に聞いた。

「ブルーオーシャン(競争相手がいない市場)戦略で市場を攻めていきたい」と話す佐藤頭取は、今年の9月にも日本在住の永住権を取得していない台湾人やその他外国人向けに住宅ローン貸し出しなどの事業を開始したいとした。佐藤頭取によると、外国人が日本で永住権を取得するには約10年かかり、日本の大部分の銀行は永住権を取得していない外国人へのローン貸し出しは行っていないという。「今後日本の労働人口は20年間で約1400万減ると言われているなか、経済成長維持には外国人の存在が重要となってくる。外国人が日本で働き、日本に住むためにも、このローン提供が市場において必要である」(佐藤頭取)。

台湾人とのビジネスについて示及とある縁から台湾人と知り合い、その時から「台湾人はビジネスを正しく理解している」と感じていたと話す佐藤頭取。当時の感覚に間違いはなく、CTBC傘下に入った東京スター銀行に移ってきたから、会社の方向性や方針について違和感を感じていないという。また、「日本は東日本大震災で、台湾という親戚、家族みたいな存在がすぐ隣にいる事に気づけた」とし、日台の経済関係においても「日陰ではなく、お日様の下で堂々とビジネスをしていきたい」と語った。さらに、台湾で事業を考えている日本人に対して、「銀行は金融商品を売る販売会社ではない。お客様の成長をサポートしていくもの。もし台湾で事業を考えている人がいたら東京スター銀行に相談してほしい」と話した。

# 新南向政策を見据え「アジア進出ビジネスアライアンス・セミナー」を福岡で開催



講演した台湾貿易センター福岡事務所長の林淑恵氏。九州台湾商会(頼玉汝会長)は6月9日、福岡市天神のナチュラルプラス会議室で「アジア進出ビジネスアライアンス・セミナー」を開催した。講師は台湾貿易センター福岡事務所長の林淑恵氏で約70人の聴衆を前に台湾の「新南向政策」を中心に説明し、その遂行に必要な日台の連携を訴えた。

講演の冒頭は、両国の漁業協定、投資協定、租税協定、金融協力覚書の締結などの経済面での連携強化を解説した。また、航空便の新規開設・増便、観光ビザの免除などからもたらされる活発な人的交流、さらに交流協会や亜東関係協会の名称に「日本」「台湾」の文字が使われた実情を引用しながら、日台関係はいま、戦後最良とも言える状態にある事を強調。加えて台湾に投資した日本企業の80%以上が利益を出している事も説明した。

4つを挙げ、この実現に向けて、以下のような背景を持ち、相互補完関係にある日本と台湾が連携する事が望まれるとの見方を示した。日本側には「国内市場が成熟し、中小企業が海外に成長の場を求めている」事。「微妙かつ複雑な日中関係のリスクを回避するため、東南アジアで新たな製造拠点や市場チャンスを求めている」事。「華人圏販路を獲得したい」事。「信頼できる海外事業のパートナーを探している」事などを挙げ、台湾側には「日本とは相互補完のベースとなる緊密な産業連携が確立している」事。「両国関係が良好で観光、貿易経済交流が活発である」事。「台湾には中国とのECFA等の協定や華人圏での優位性がある」事。「台湾日本関係協会と日本台湾交流協会はすでに42のMOUを締結しておりwin-winの発展環境が確立している」事など、とした。

# 在日台湾不動産協会 東京スター銀行と相互貢献



在日台湾不動産協会(錢妙玲代表理事)は6月19日、アスコット丸の内トリプルワンで東京スター銀行の佐藤誠治頭取ら役員によるセミナー及び懇親会を開催し、同協会と東京スター銀行は今後、さらなる交流を深め、相互貢献していく事で合意した。

徳薫最高顧問、濱田裕子副代表理事ら理事及び協賛会員のアライアンス・リアルターの温井史論社長ら会員約20人が出席し、東京スター銀行役員らと交流を図った。また、6月初旬に台北で開催された「台湾国際不動産理財投資展」に出展した報告会も実施され、同会の棚田麗事務局長は、「出展業者からの反応が良く、管理の依頼などの問い合わせも入った。年末も企画していきたい」と話した。

同会は2015年の創立以来、日本と台湾の不動産を通して共に安全な不動産取引の知識の啓発、研修教育などを交流しており、同協会が発信源となり、日本の不動産に関する情報を台湾人に提供している。なお、錢代表理事は在日台湾人で永住権を取得していない台湾人でもローンが組めるよう、ほかの銀行とも連携を図っていきたいとしている。



東京スター銀行役員らと交流を図る錢妙玲代表理事

# 「TAIPEI CYCLE」 開催期間変更で出展者を誘致



左から台湾貿易センター呉俊澤所長、BESV JAPAN 澤山俊明社長、サイクルツーリズム宮内忍顧問、自転車協会水谷利之常任理事、代表処経済部張厚純部長、台湾自転車輸出同業公会張蕙娟秘書長、TAIPEICYCLE 担当巫宜學さん

え、市場が広がっていく」と強調した。また、台湾でサイクルツーリズムの視察を行っているサイクルツーリズム研究会の宮内忍顧問は、「台湾はサイクリングが観光業においても先進しているため、同展に観覧者を誘致する機会を設け、同展が1つのソーシャルネットワークのプラットフォームになるよう仕掛けていくとした。

台湾を代表する自転車産業の見本市「TAIPEI CYCLE」開催前の6月6日、台湾貿易センターは都内帝国ホテルで台湾自転車産業セミナーを開催した。毎年3月に開催されている同展は今年で30回を迎える。セミナーでは、海外出展者より「自転車の生産周期が始まる10月に会期を変更してほしい」との多数のリクエストを受け、2018年より開催時期を10月31日から11月3日の4日間に変更し、出展者のさらなる誘致を図る、とした。また同展では、BtoB商談のプラットフォームを新設し、来年の推定出展者数を約1170社と見込み、最新製品やデザインのプロモーションなども行う構え。さらに、いち早く市場の傾向や消費活動について知ってもらうため、教育フォーラムの開催やスタートアップ企業をバックアップするなど、若者が市場に参入できる機会を設け、同展が1つのソーシャルネットワークのプラットフォームになるよう仕掛けていくとした。



巫宜學さんによる TAIPEICYCLE2018の説明

# 日台交流複合施設『NIBUNNO』正式オープン



台湾人アーティストの部屋、上から半分をデザイン泊まれるギャラリーをコンセプトとした日台交流複合施設 NIBUNNO(ニブンノ)がこのほど、東京・港区麻布十番に正式オープンした。

さらに、5階のラウンジスペースでは、日台双方のアーティストの作品を展示するほか、地下1階のスペースではギャラリーの展示会を開くなど、クリエイティブイベントとして、日台相互のデザイン事情の交流会などを行っていくとしている。

## 期間限定の「NIBUNNO(二分の)」

一方、契約の事情から同施設は2020年の東京オリンピック後の取り壊しがすでに決まっている。4年後には更地に戻るという事を逆手に取り、同施設組み立て前を「1」、2020年を「0」とし、現在二分の一の状態であるという時の経過を「NIBUNNO(二分の)」と表し、また、もともと自動車の部品倉庫である同施設の各フロアを、床から1300mmを切り取って「解体途中」をイメージさせ、切り取られた上半分のみをデザインし施工した結果、解体ラインが床と天井のちょうど半分(二分の一)だった事から、両方をかけて同施設名を「NIBUNNO(二分の)」とし、期間限定で、しかも二つの違う世界を味わう事が可能なストーリー性がある施設となっている。

なお、同施設の大まかな解体デザインは、世界各国で実績を残してきた日本国籍の建築家虎尾亮太氏が務めた。虎尾氏によると、「解体をデザインする」をモチーフに進め、下半分の施工しない部分は白く塗り、残り上半分は変な形をしたコンクリートのものもとある性質を生かした事によりデザイン性溢れる施設となったという。「白とコンクリートの融合がクリエイティブギャラリーとして生きている」(虎尾氏)。

同施設は昨年7月に解体を開始してより、今年2月に完工。3月1日にはプレオープンし、日本人のほか、多くの外国人の宿泊客を迎え、すでにリピーターもいるとの事。

泊まれるギャラリーをコンセプトとした日台交流複合施設 NIBUNNO(ニブンノ)がこのほど、東京・港区麻布十番に正式オープンした。日本と台湾人アーティストのギャラリーと宿泊施設をミックスさせた複合施設で、台湾国籍の李章聖オーナーの「日台のクリエイティブ業界の交流の場を作り発信していきたい」との思いから立ち上げに至った。同施設では、日本と台湾発のオリジナル作品を随時展示し、宿泊者に日本と台湾のクリエイションの魅力に直接触れる機会を創出するとしている。

台湾と日本には優秀なクリエイターが多いのに対し、若者クリエイターの舞台が少ない事から、同施設の1階では、日本人と台湾人デザイナーの商品を販売し、さらに「想像力の中に住む」をテーマとした全2部屋の宿泊施設では、2階は日本人アーティストによってデザインされた部屋を、3階は台湾人アーティストによってデザインされた部屋を用意した。三か月毎にそれぞれクリエイターを変えるため、若手デザイナーが力を発揮できるチャンスがあると同時に、宿泊者にとっても三か月に1度違った空間が味わえるとの事。



宿泊施設、一部屋4人部屋となっている

# 日台経済文化交流協会総会で陳処長が交流深化に期待

日台経済文化交流協会(上村直子会長)は6月6日、ホテルモンテ横濱で平成29年度総会と懇親会を開催。先の5月に台北駐日経済文化代表処横浜分処の処長に就任した陳陞宏処長夫妻も来賓として出席し、同会の発展に期待したほか、台湾との窓口として協力していきたい意向を示した。

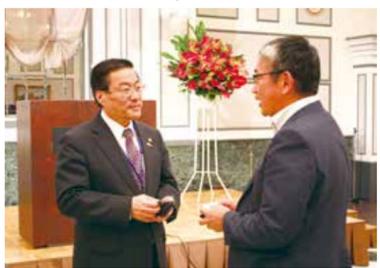
上村会長は総会で、陳処長に対し歓迎の言葉を述べたほか、「同会は数ある日台の会のなかでも、「経済」という名前が付く珍しい会です。陳処長は以前より経済分野にお詳しいと聞いておりますので、同会の経済分野での発展にご協力頂きたい」と、陳処長への期待を表明した。

これに対し陳処長も、「今後、同会における経済面での台湾との交流について、実質的な部分で取り組みを進めていってほしい。私も代表処の立場で台湾との窓口として精一杯協力したい」と積極的な姿勢をみせた。なお陳処長は、この総会をもって同会の名誉顧問に就任した。

なお、総会では平成28年度の事業報告や収支決算報告が行われたほか、今年度の事業企画や収支予算案、会則や役員の変更などについて発表され、参加者の拍手をもって承認された。

懇親会には台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長、衆議院議員の菅義偉内閣官房長官秘書・奥野智佐氏、湘南・日台未来交流協会の添田宏高会長など横浜地区における政界、経済界の関係者らほか、台湾人留学生ら約50人が出席した。

陳処長は以前より経済分野にお詳しいと聞いておりますので、同会の経済分野での発展にご協力頂きたい」と、陳処長への期待を表明した。



横浜地区の関係者らと名刺交換する陳処長(左)

# 台湾「辦桌」を再現!台湾ビアガーデン開催



主催の岡田誠代表理事

台湾を愛する会(岡田誠代表理事)が主催する「台湾フェスティバル TOKYO2017」が6月22日から25日の4日間、上野恩賜公園噴水広場で開催され、今年は「台湾ビアガーデン」をテーマに大勢の来場客らで賑わっていた。

「台湾の食文化を知ってもらいたい」との思いから岡田代表理事は、台湾料理を堪能してもらうため、今年は新たに台湾の伝統的な宴スタイルの「辦桌(バンジョウ)」を再現した。円卓にする事で相席となり、そこに交流が生まれる事も目的とした。また、今年の目玉の1つでもあるフルーツフェアでは台湾の獲れたてのフルーツを直売した。なかでも全農企業社直送の愛文マンゴーは、牛乳の肥料で栽培したミルクマンゴーとも呼ばれ、岡田代表理事が6年前に

同社ブランドのマンゴーに出会って以来、今回日本で初めての販売が叫びたいという。また、恒例の「台湾ライチ種飛ばし大会」や台湾語レッスンなどの体験型「ワークショップ」、さらにメインステージでは台湾民族の踊りなどが披露され、多くの来場客を魅了した。

一方、台湾グルメの販売ブースでは長蛇の列ができるほど盛況で、「辦桌」では台湾グルメを食べながら台湾ビールを飲むで溢れ返り、今台湾にいるのではないかと錯覚にまで陥るほど。台湾グルメを目当てに来場した女性二人組は、「昔台湾に留学していて、台湾の『麵線』がなつかしくなって食べに来た」とコメントし、また、男女二人組は「彼女が台湾人なので台湾グルメを知るために来ました。『蛋餅(ダンピン)』初挑戦です」と話した。

岡田代表理事は、「ただ台湾を伝えたい」という思いだけで台湾グルメをなつかしむ女性二人組

活動を行っている。4回目となる同フェスティバルは、1回目はわずか台湾グルメ出店数が8ブースのみだったが、まさか4年でこんなに盛大になるとは思わなく、本当に嬉しい」と語った。

なお、24日には開会式が行われ、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、日本台湾交流協会の谷崎泰明理事長、台東区の服部征夫区長が出席し、また、同時に行われたライチ種飛ばし競技の始球式にも参加した。

さらに開会式で謝代表は、同フェスティバルのボランティア参加者に対し、「特別観光親善大使」を任命し、参加者代表の3人にプレゼントが贈呈された。



辦桌で相席をしながら台湾グルメを楽しむ様子

# 「まるごと台湾フェア」開催!さらなる台湾との交流を目指して

杉並区交流協会(井上泰孝理事長)主催で杉並区共催のイベント「まるごと台湾フェア」が6月10日、センオン杉並で開催された。同フェアは今年で5回目の開催となった。

杉並区は6年前より台湾と「中学生野球交流事業」の実施が決まっていたが、2011年の東日本大震災後、同交流協会が福島県の南相馬市と災害時相互援助協定を結んでいる事から、「南相馬市の中学生が目標や夢に向かって集中できる機会を作ってあげたい」と同区の要望に台湾政府が応じて支援し、同区と南相馬市は台湾で台湾の中学生と親善試合を行った。



二胡奏者の里地帰氏(左2)

その後、杉並区は「台湾に恩返しをしたい」と考え、2013年より同フェアを開始し、現在まで毎年開催されている。

当日は、台湾グルメや物産の販売、観光の紹介ブースが設けられ、また、展示会室のステージスペースでは、里地帰氏による二胡の演奏などが行われた。さらに女優作家の青妙さんによる『台北以外』へ飛び出そう、台南や宜蘭、花蓮を楽しみ尽くす方法の講演会や、盲目のピアニストである黄裕翔主演の映画「光にふれる」の特別上映会が行われた。なお、当日は黄裕翔が来日舞台挨拶とミニコンサートも行われた。

一方、フェア開催前のオープニングセレモニーでは、杉並区の田中良区長、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表らも出席し、テープカットを行った。田中区長は、近年台湾人の日本に対する特段の好意が年々広がり、今では野球というスポーツ交流から、文



台湾葱油餅の販売

化交流にも発展している事に言及し、「台湾の国立台湾戯曲学院と文化芸術交流を開始してより、昨年4月には同区約100人の日本人が台湾のイベントに出席し、高円寺の阿波踊りを披露し、多くの好評を得た」と話した。さらに同協会の高橋光明事務局長は、「今後は阿波踊りのレーンの中に台湾人レーンを作り、日台交流を発展していきたい」とし、今後の交流に向け努力していくと意気込みを語った。

# 『留学フェア』で国立台湾大学らがPR



各ブースで留学制度の説明やPRが行われた

日本台湾教育センターが開催する「留学フェア」が6月17日、東京中華学校で開催され、国立台湾大学、淡江大学、国立中山大学ら台湾19大学が来日し、日本人留学生の誘致を図った。同フェアは今年で6回目の開催となり、会場には台湾留学に興味を持つ多くの学生が来場した。

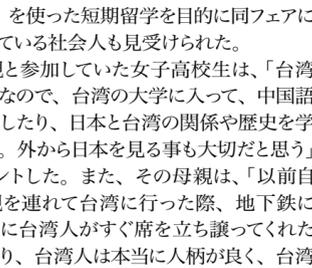
大学関係者らは来場者に対し各ブースにおいて、留学制度や学校の魅力についての説明やPRを行った。なかには、現在正規で台湾に留学中の日本人留学生が、自身の留学経験を話している大学ブースもあり、実際に留学している日本人の話が聞けるため、来場者らは留学に対する不安などを相談する事ができた模様だ。

来場者は、正規の4年生大学の留学を目的としている高校生が多数を占めたが、なかには台湾人アーティストが好きなどの理由から、夏休みなどを使った短期留学を目的に同フェアに参加している社会人も見受けられた。

母親と参加していた女子高校生は、「台湾が好きなので、台湾の大学に入って、中国語を勉強したり、日本と台湾の関係や歴史を学びたい。外から日本を見る事も大切だと思う」とコメントした。また、その母親は、「以前自分の親を連れて台湾に行った際、地下鉄に乗る度に台湾人がすぐ席を立ち譲ってくれた事があり、台湾人は本当に人柄が良く、台湾

留学なら親としても安心できる」と話していた。主催者である、同センターの李佩華センター長(淡江大学国際長)によると、現在台湾に留学している日本人留学生は7000人を超えているとしている。李センター長は「同フェアを開催してより、毎年日本人留学生が増えているのを実感している。同フェアを通して台湾の優秀な教育制度や良い学習環境を知ってもらいたい」と話したほか、「反対に台湾の学生が日本に留学する事で、若者同士の交流へと繋がりが、人生において良い経験になる」と語った。

なお同フェアは6月18日に水戸京成ホテルでも開催された。



留学フェアに参加した親子

簡単で効率のよい経理を支援します

**大塚会計事務所**

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるといふ方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306

TEL: 03-3985-5730 FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

**嘉南旅行社**

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊 ●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

精通國、臺、日語服務親切

※銀行匯款口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(普) 3678888(名義) 嘉南観光(株)

営業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00

TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989

地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

**大鑫産業株式会社**

広めよう未来につながるリサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ	自動車部品	OA機器	基板	CPU貴金属
---------	-------	------	----	--------

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN

TEL. 0297-30-3308(代表) FAX. 0297-30-3309

本社: 〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 http://daikin34.com/index.html

Information エンタメ/イベント/日台交流

恵比寿・野外で「台北の朝、僕は恋をする」上映



台北の朝、僕は恋をする © 2010 Atom Cinema \_ greenskyfilms All rights reserved

台湾映画「台北の朝、僕は恋をする(2009)」が8月11日、恵比寿ガーデンプレイスで開催される「恵比寿ガーデンピクニック」内のメインイベント「ピクニックシネマ」で上映される(19:30上映開始)。

問い合わせ↓
恵比寿ガーデンプレイス・インフォメーション
Tel: 03-5423-7111

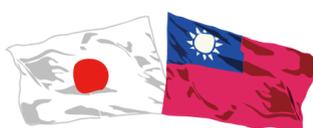
「日曜日の散歩者-わすれられた台湾詩人たち」プレミア試写会



台湾映画「日曜日の散歩者-わすれられた台湾詩人たち」が2017年8月よりシアター・イメージフォーラムほかで全国順次公開される。

日曜日の散歩者 © 2015 Roots Films Fisfisa Media All Rights Reserved
開演(上映時間)162分。上映後18:15頃よりトークイベント(30分)を予定。

問い合わせ・申し込み↓
大泰株式会社 日曜日の散歩者試写会係
Fax: 03-6903-6970
Mail: sunpoday@uzumasa-film.com



第2回台湾フェスタ 2017 開催決定!!

大盛況に終わった台湾フェスタが今年さらさらパワーアップ!!

昨年2016年7月30日・31日に台湾の「観光・産業・芸能・文化・美食」などの魅力を紹介するため、野外フェスの「聖地」として知られる東京・代々木公園にて日本と中華民国台湾の交流を目的に第1回「台湾フェスタ2016 代々木公園」が開催されました。

今年2017年7月29日(土)30日(日)の2日間で開催。代々木公園にまさに「トリ台湾」が出現します。台湾旅行をしている気分ぜひご来場ください!

「台湾嘉年華 IN 代々木公園」実行委員会、是由日本在地華僑、台湾人、以及在台日交流給予支持補助的各方人士所組成、該委員會即將於2017年7月29日(六)、30日(日)兩日、舉辦第二屆「台灣嘉年華 IN 代々木公園」。

TOURISM



台湾フェスタ 2017
開催日: 2017年7月29日(土)30日(日)
会場: 東京都渋谷区 代々木公園 野外ステージ
主催: 台湾フェスタ実行委員会 共催: 日本華商総会



台湾的美食



CULTURE

台湾的文化



全日本台湾連合会幹部で記念撮影

「全日本台湾連合会」設立で団結を主張

在日台湾人組織「全日本台湾連合会(以下:全台連)」がこのほど設立し、6月4日、設立を記念したパーティーが東京都内のホテルで開催された。

全台連は台湾本土意識が強い在日台湾同郷会、在日台湾婦人会、日本台湾医師連合、台湾独立建国連盟日本本部など17団体によって設立された。

初代会長に選出された趙中正会長は同パーティーの挨拶において、「台湾優先、団結第一」を設立趣旨に掲げたほか、「台湾人としての『主

体性』を強く主張して参りたい」と述べた際には拍手喝采となり、会場の賛同を得た。

なお、パーティーには日本台湾医師連合、美麗島交流会、九州台日文化交流会の代表ら約250人が出席したほか、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表や中華民国僑務委員会の呉新興委員長、日本台湾交流協会の柿澤未知総務部長、日本の保守系政治家や評論家からも出席し設立を祝した。さらに、蔡英文総統は祝電を送り、全台連が日台の友好関係を促進し、双方の友情を深めるために貢献してもら

えればとの期待を示した。

現在日本に住む台湾人や台湾にルーツを持つ人は10万人以上と言われており、台湾本土意識が強い蔡英文政権発足で、在日台湾人のアイデンティティーは強くなったとしている。



全日本台湾連合会の趙中正会長

台湾文科省、淡江大学 共同企画

気軽に楽しく学べる中国語レッスン!

すぐ使えるらくらく実用的なフレーズ!

経験豊富な台湾出身のネイティブ教師による授業!

中国語 速成会話講座 学員募集中

只今一週目 無料体験実施中!



お問合せ

新富中国語教室(担当:陳)
TEL: 080-4109-5488
FAX: 03-5836-6536
Eメール: shintomi.cl@gmail.com

主催: 新富中国語教室 後援: 日本千葉台湾商会

\*企業並び団体の要求に合わせて、オリジナルレッスンにアレンジすることも可能です。お気軽にお問合せください。

新収入保障保険プラン!! 経営者にとってのリスクは死亡だけでなく、障害や要介護状態になった場合も考えられます。

14社の生命保険商品を駆使し、お客様のニーズにあったオーダーメイドの保険をお作りします



収入保障年金・高度障害年金 生活障害年金・生活介護年金 特定就労不能障害年金 月額40万円

45歳ご契約 保険期間・保険料払込期間 65歳満了

【ご契約例】
●ご契約年齢・性別: 45歳・男性
●保険期間・保険料払込期間: 65歳満了
●保険契約の型: III型
●最低支払保証期間: 5年
●基本年金額: 40万円
●保険期間・保険料払込期間: 終身
●年払保険料: 371,640円

年金のお支払事由が生じた場合、以後の保険料のお払込みは不要です。

Table with 3 columns: 経過年数, 年金受取総額, 一時金受取額. Rows for 6年目 and 10年目.

ご自宅・会社・店舗へ訪問してご相談し、最適の保険設計プランをお届けします。お電話、又はメールでご連絡ください。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館20階
[担当] HOSAKA
[直通TEL] 090-4748-8335
[本部] TEL: 03-5288-5354 FAX: 03-5288-5359

(株)リンクサポートグループ(本部)
全国規模展開の専門知識でコンサルティングができる生命保険代理店



# Digest News / June 2017

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

## Jun.1 「0601豪雨」犠牲者2名

台湾全域で6月1日～4日に発生した記録的豪雨によって死者2人を出した「0601豪雨」は、2日は北部を中心に、3日は中部、南部へと移動し、各地で被害をもたらした。行政院農業委員会によると、農産物や建築物等の被害想定額は約2億7千円にも上るといふ。行政院の林全院長は、「今回の洪水量は40年来最多で、2ヶ月以内に現在の水漏れ状況を大幅に改善し、また今後は洪水被害を20年以上防げるように修復作業を徹底していく」とコメントしている。なお、中央災害対策センターは1日、「0601豪雨



豪雨による被害(写真提供:自由時報)

中央災害センター)を開設し、国民に警戒するよう呼びかけ、避難所への誘導、随時救助に向かう等の任務を果たしたという。

## Jun.5 行政機関休日115日に

現在国民の休日が問題視される中、行政院人事行政総処は、「記念日及び節句実施方法」、「公務員週休二日制実施方法」及び「政府機関出動日調整処理要点」などの規定に従い、2018年の政府行政機関出動スケジュール表を決定し、休日を含め115日とする事を明らかにした。休日となる記念日及び節句が火曜日、もしくは

木曜日にあつた場合は一律休日を調整し、前の週の土曜日に出勤する事を原則とし、これにより3日以上の土日を含む連休は6回となる。人事行政総処は、同カレンダーはあくまで政府行政機関の公務員に適用されるものだが、原則上公営事業機構の休日にもこれに照らし合わせると述べている。

## Jun.7 新北市の工場でガス爆発

新北市にある玉膳坊月子餐工場の2階からガス爆発が起り、12人が病院に搬送された。爆発時刻は135分工場内において、11人の従業員とお弁当のデリバリーに来ていたスタッフ1人の合わせて12人が病院に搬送されたが死者は出ていないとの事。消防局によると、同日はガス交換日であり、交換時のミスによりガスが漏れ、爆発が起ったとみられて今後捜査を続けるとしている。この爆発により1階のキッチン、地下に駐車してあった40台の自転車、5台のバイクが全焼した。一方、病院に運ばれた社員の中に多数の外国籍の従業員が含まれており、労働部は、災害や傷病により仕事が出来なくなった場合、



ガス爆発による被害(写真提供:自由時報)

最高10万円の慰労金を基準とし、怪我の程度によって慰労金を支払うようすでに新北市府勞工局に命じている。

## Jun.10 「看見台灣」監督が乗せたヘリコプター墜落

全編空撮で台湾の風景を映し出したドキュメンタリー映画「看見台灣(天空からの招待状)」の齊柏林監督が搭乗していたBell 206型ヘリコプターが墜落し、搭乗していた3人全員が死亡した。齊監督は事故発生2日前の8日に同作品第2弾のクランクイン会見を行ったばかりで、同作品撮影中の事故だったという。飛航安全調査委員会によると、初期段階の捜査において、電線に引っかかったのが墜落と、空中での出火が原因ではない事は判明したが、同ヘリコプターにはブラックボックスが搭載されておらず、捜査が難航し、通信や飛行記録から原因を調べるとしている。同作品は

2013年に台湾で公開され、興行収入2億元を超える大ヒットを記録したほか、同年の映画賞「金馬獎」では最優秀ドキュメンタリー賞を受賞した。(6月27日現在)



メディアの質問に答える齊柏林監督(写真提供:自由時報)

## Jun.12 アーチェリーワールドカップ、3つの金メダル獲得

アーチェリーのワールドカップ決勝ラウンドがトルコのアンタルヤで行われ、リカーブ女子団体が6-0で日本を下し、金メダルを獲得した。出場した選手は彭家楙、譚雅婷、雷千瑩。さらに、リカーブ部男女混合でも魏均珩・彭家楙コンビがアフランスを下して金メダルを獲得したほか、コンパ

ウンド男子決勝でも陳享宣が大会初の金メダルを獲得し、台湾の成績は金3、銀2、銅1となった。コンパウンド男女混合でも銀を獲得した陳享宣は、「夢みた。前はテレビやネットでワールドカップの決勝を見ていたのに、自分も同じ舞台に立ってなんて思いもしなかった」とコメントした。

## Jun.14 桃園市でティラピアのウイルス感染を確認

桃園市観音区の池で6月上旬にティラピアの死骸が多数確認された件で、行政院農業委員会は高い致死率を持つティラピアレイクウイルスの感染を確認したと発表した。同ウイルスの感染が確認されたのは台湾を含め世界で6ヶ国となった。ヒトへの感染の恐れはないとしているが、万が一死んだティラピアを生でそのまま

食べた場合、呼吸器感染症や敗血症を引き起こす場合もあり、最悪の場合死に至るといふ。今後1ヶ月で周辺半径3キロ以内にある養殖場や南部や台南の仕入れ先などの検査を行っていくほか、桃園市政府動物保護処は、ティラピアの養殖場間の移動を少なくとも2週間制限するとしている。

## Jun.14 台大が世界大学評判ランキングにランクイン

イギリスのタイムズが毎年秋に発行している高等教育情報誌「ザ・タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」において「世界大学評判ランキング2017」を発表し、国立台湾大学が51～61位にランクインした。昨年の81～90位を大きく上回った。同ランキングは、今年は137カ国・地域の1万5666名の研究者が調査を行い、

研究者1人につき15校のリストを提出し、これをもとに評判の良い大学100校のリストを作成した。台湾大学研究発展処の李芳仁処長は、「台湾大学の学生は卒業後も各分野で活躍しており、良い印象を持たれる事が多く、評判を高めている。これは、同大学の強みとも言える」とコメントしている。

## Jun.15 一蘭ファン、雨の中深夜から並ぶ

台湾人にも人気の日本のラーメンチェーン店「一蘭」の台湾1号店が台北市内オープンし、約250人が11時のオープン前から並んだ。台湾メディアによると、先頭客は深夜2時から並び始め、このほか多数の客も雨の中深夜から並んでいたという。食べ終えた客は「美味い」と、並んだ甲斐があったとコメント。台湾1号店では、日本の味を再現するため、スープや麺は日本から輸送し、また、仕切りがあるカウンターや、麺の硬さを指示する注文票など、日本の味やスタイルにこだわ

っている。一方で、一蘭の海外広報者は6月10日、6000円分のお土産商品などを購入すると2人優先に入店できる「ファストエントリーサービス」の導入を発表したが、「高すぎる」との批判が殺到し、波紋を広げた。一蘭側は釈明会見において、「普通の行列よりも長くなるとその特典の意味がなくなってしまうので、あえて高く設定した」とコメントした。今後は台湾の情勢や文化を参考にして価格を検討していくとの事。

## Jun.15 台湾食品「優秀味覚賞」

ブリュッセルに本部を置く国際味覚審査機構(以下:iTQi)が認定する世界的な食品コンクールで、台湾の食品は、「優秀味覚賞」の認定を受けた。なお、「優秀味覚賞」は一つ星から三つ星の三段階に分けられており、今年台湾からは34種類の製品が三つ星の最高栄誉に輝いた。さらに、iTQiは参加した83カ国の中から台湾を「年度テーマ国」に選出した。選出した理

由は、台湾の食品や飲料品で数々の賞を受賞し注目を浴びているからという。なお、今年の認定には83カ国の食品及び飲料品1989点が参加。このうち1372点が賞を受けた。iTQiは毎年、ミシュランガイドや一流シェフ、欧州各国の料理専門家を招いて世界の食品や飲料品に対する評価を行っている。

## Jun.16 「維冠金龍大樓」の再建工事開始

昨年2月に発生した台湾南部地震で倒壊し、115人の犠牲者を出したビル「維冠金龍大樓」の再建に向けた地下構造物解体工事が始まった。解体されるのは深さ7.3メートル、面積490坪の地下構造物で、再建委員会によると、2020年には地上15階、地下3階建ての新しいビルに生まれ変わり、同年9月には入居が始まる予定だ。入居を希望する被災世帯は31世帯で、残る17戸は一般向けに販売されるとしている。なお、解体工事に際しては、起工式が行われ、主催した台南市の賴清徳市長は、「義援金が40億元以上集まり、その義援金を運用し、同ビル所在地を離れた住民には土地の売却と新しい住宅

の購入をサポート、離れない住民のためにはビルの再建と、2つの制度を併用して支援に取り組んできた」と述べ、再建に携わった人に感謝の意を示した。



維冠金龍大樓再建工事開始、賴市長(右3)(写真提供:中央社)

## Jun.23 「講客廣播電台」開局、蔡総統が開局式に

全国放送の客家語ラジオ局「講客廣播電台」が正式に開局し、開局式において蔡総統が進行した。放送エリアはまず北部・台北・新北・基隆、桃園および南部・台南・高雄、屏東の計7市のみとし、今後他地域にも拡大していくという。インターネットでも聴取可能。

前日から客家人のアクセシビリティを高めようと、客家語ラジオ局の開局に向けた準備を進めてきた。放送エリアはまず北部・台北・新北・基隆、桃園および南部・台南・高雄、屏東の計7市のみとし、今後他地域にも拡大していくという。インターネットでも聴取可能。

## Jun.23 中国製ワクチン密輸発覚

海岸巡防署は、金門空港で中国製の鳥インフルエンザのワクチンが、高粱酒の瓶210本の中に入れて密輸されているのを発見した。総額1000万円を超えるといわれ、金門空港でこれほど大量のワクチン密輸が発覚されたのは初めてである。行政院農業委員会防檢局によると、動物薬品の個人輸入は「動物用薬管理法」に触れるとして密輸者は地検署に送検された。210本の瓶の量は、鳥30万匹に対しワクチンを打つ事ができ、さらに、中国大陸で打てば6円で打つ事ができるのに対し、台湾ではその10倍の60円で打つため、密輸者は中国で



密輸された3種類の高粱酒に入れたワクチン(写真提供:自由時報)

## Jun.23 桃園市で襲撃、4人死亡

桃園市中壢元化路で銃撃事件が発生し、容疑者の男を含め4人が死亡した。警察署中壢分局によると、殺害されたのは違法賭博運営会社の共同経営者など男性2人と女性1人。容疑者は会社のある8階建てビルに1人で立ち入り、事務所に入るなり発砲した。通報を受けて現場に駆け付けた警察

官に追い詰められた容疑者は、自らのこめかみを銃で撃ち自殺を図りその後死亡が確認された。被害者らが経営する会社は、非合法なオンライン賭博で多額の利益を得ていたという。警察は、類似の別会社に投資していた容疑者との間にトラブルがあったとみて調査を進めている。(6月27日現在)

## Jun.24 台湾サイクリングフェス始動

台湾サイクリングフェスティバルが「Light up Taiwan」のテーマの下始動した。同フェスティバルは、10月にかけて台湾本島の東西南北端にある三貂角(新北市)、國聖港(台南市)、鵝鑾鼻(屏東県)、富貴角(新北市)の4つの灯台をテーマにさまざまなサイクリングコースを巡る催し。それぞれ主催者が考えた難易度の異なるサイクリングイベントを順次行いながら、各灯台を巡るといふスタンプラリー形式を通して、灯台及び灯台周辺の風景を楽しみ、参加者に四



台湾サイクリングフェス記者会見(写真提供:自由時報)

## Jun.24 「金曲獎」受賞者発表

第28回台湾版グラミー賞「金曲獎」の受賞式が行われ、方大同と艾怡良が最優秀歌手賞に選ばれた。最優秀男性歌手に選ばれた方大同は香港を拠点とした人気ミュージシャンであり、今年6回目のノミネートで、念願の受賞を決めた。一方最優秀女性歌手に選ばれたのは台湾女性歌手の艾怡良だ。2013年に新人賞にノミネートされたものの、受賞には至らず、今回初の受賞となった。なお、今年最も注目を浴びたのは、インディーズバンドの「草東没有派对」で、最優秀バンド賞、最優秀楽曲賞、最優秀新人賞の3部門を受賞した。また、草東没有派对と対決していた「Mayday」も最優秀アルバム賞、最優秀作詞賞を受賞して

いる。なお、授賞式には日本バンド「GLAY」が特別パフォーマンスを行い、「誘惑」ではMaydayのメンバーも登場し、日台コラボレーションで会場を盛り上げた。



草東没有派对が3部門で受賞(写真提供:自由時報)

(元=ニュー台湾ドル)

# 安全と快適を乗せた「台湾製観光バス」が福岡へ初上陸!



6月14日に博多港に陸揚げされた1号車

全長11.98m、全幅2.48m、車高3.6m、自重13.6トンという巨大にもかかわらず、左右の揺れ角度38度までを許容し、万一転落などで数度回転したとしても車体の損傷が少ないという安全性の高い観光バスが台湾から輸入され、6月22日に福岡市東区の筥崎宮でお披露目された。製造したのは台湾台南市のバスメーカー嘉馬汽車有限公司(JIA MA モーター: 呂文瑞社長)で、輸入したのは福岡でバス・トラック・ダンプ等的大型車両の整備・販売を行う博洋自動車株式会社(吉田佳史社長)。

両社が、日本向け大型観光バスの製造・輸入の総括的な業務契約締結を発表したのは今年の1月17日。それからわずか5ヶ月余りという短時

間で1号車の引渡しが実現した。日本の常識からすれば驚異的なスピード納車だ。もちろん契約発表前から頻繁な打合せが行われていたというが、製造の本格化は今年に入ってから。しかも、初めての右ハンドル車への挑戦というハンディを乗り越えたものである。その技術力と管理力には舌を巻かすにはられない。

安全・安心への配慮は、車体の前後・左右・上下6ヶ所に設置した人や物の検知センサーにとどまらず、通常の非常口に加えて後方天井に緊急脱出口を設け、万一の救出に備えている事にも表れている。「ユーロファイブ(Euro5)」排ガス規制などの環境対策も万全だ。また、フルオートマチック運転やシンプルな計器の配列など、乗員に優しい設計が随所に見られる車両である。

一方、乗客は、大きい窓で広い視野の景色を楽しむ事が可能だ。またカラオケ好きの台湾人が手掛けただけに、高性能小型大音量スピーカーが12個も配置されているのも、ならではの装備だ。さらに乗り降りしやすいように、走行時と停車時の車高の上下や、車体を傾ける機能も装備しているという点も特徴だ。トランクルームも通常のより大型スーツケース三個分以上広くとられており、左右どちらからも積み降ろしが可能だ。なぜこのようなことが実現できたのか? 吉田社

長によれば、イタリア・イベコ社を始め、ヨーロッパ、日本、韓国、中国など数社との提携で培ってきた技術力だけでなく、JIA MA モーター技術陣のモノ造りの姿勢が素晴らしいという。最新の製造装置に職人魂が注入された結晶がこのバスののだという。

呂社長も世界各国から集めた最強・最良の部材を優秀な技術者が1つ1つ丁寧に成形し、ヨーロッパ基準という厳しい条件をクリアしていることに胸を張り、走行の安定性と安全性に絶対の自信を見せる。受注から納品までのリードタイムは5ヶ月程度。販売価格はサンプルカーと同じバージョン仕様で1台3,600万円に設定し、ユーザーの要望によりオプションを付ける。販売台数は2018年までに60台を達成したいとしているが、呂社長は東京オリンピックのある2020年までに200台は売りたいと見込んでいる。

バスの前で固い握手を交わす吉田社長(左)と呂社長(右)

JAPAN TAIWAN FESTIVAL 2017

## 日本台湾祭り 2017

おなかにごちそうを召しませ

2017 7/7(金) 7/8(土) 7/9(日)

in 上野恩賜公園

<http://tw-jp-fes.com/>

本場の味、自慢のお店が勢揃い!

台湾伝統茶の数々、日本と台湾の著名アーティスト、両国の名曲とあって活躍する実力シンガーによるライブ、日台コラボの英語に基づくラプソディー映画とのコラボ、「ママタマ」に続く大作戦! 等

アジア最強の縁結びの神様

月下老人が上野公園にやってくる!

縁結び七社

上野「アメ横」と台湾「迪化街」も七夕に姉妹街の縁で結ばれる!

大船模型展、読書、ROOBY、全宇博覧会、中華書院生漢字検定大会

会場 上野恩賜公園 噴水前(竹の台広場)

日程 7月7日(金) 12:00~22:00  
7月8日(土) 11:00~21:00  
7月9日(日) 11:00~17:00

入場料 無料

雨天 決行

主催: 台湾新聞社・台日文化交流基金 共催: 上野観光連盟

tw-jp-fes.com

# 台湾と佐賀を結ぶプログラムチャーター便が実現



台北～佐賀線の運航を開始したタイガーエア(タイガーエア台湾社提供) 続き多く、昨年は通年ベースで33,000人に達している。2012年の通年との比較では約4倍に増えている。

張鴻鐘社長は「佐賀の街はとてもきれいで観光地も整備されている。のんびり日本を体験できる事は台湾の人々にとって魅力的だ」と述べ、山口祥義知事は、今日は張社長の56歳の誕生日でもあり記念すべき日となるであろうと話したほか、「台北～佐賀線は当面週2便からスタートするが、早い時期に週4便に増便し、将来は定期便化を目指したい」とした。また、「今は狭い佐賀空港だが、将来、空港の近隣の万国博覧会の開催や大型運動施設、さらにマリナーなどの

建設を予定しており、将来的な需要増を見込んで、滑走路や空港ビルなどの増設も視野に入れている」との考えを示した。加えて「本路線は必ず地域振興や経済の活性化に効果をもたらすと思われるので、皆様には大いに期待し、応援してもらいたい」と締めくくった。

本便の就航により、プログラムチャーター便を含め、九州地域は長崎県を除く全ての県が台湾との航空路線が運航される事となり、人の往来、文化の交流、経済的な結びつきがさらに加速するものとみられる。



トラの手をまねた格好で記念撮影に応じる関係者(左から福岡戎義俊総領事、タイガーエア台湾張鴻鐘董事長、佐賀県山口祥義知事、五福旅行社社長林廉駿総経理) (佐賀新聞社提供)

# デザイン良し、機能良し！ メイドイン台湾製品を東京展示



同16日、東京ステーションホテルで同イベントの記者会見を開催。台湾を拠点に活躍し、最近日本の9ドラマ「貴族探偵」のゲスト出演でも話題となった女優の田中千絵さんが登壇し、「台湾精品」を受賞した製

品や台湾の魅力をPRしたほか、TAITRAが製作した田中さん出演の台湾エクセレンス宣伝ムービーが放映された。

田中さんは台湾の優れた製品について、「台湾では現在、“文創”という言葉が流行しています。これは、古き良きものを残しながら、リノベーションなどで新しいものを創造するという事。台湾製品からも、この理念を感じています」とコメントした。また、記者からオスメの製品を問われた田中さんは、大同の電気釜を紹介し、「水分を飛ばさずにパンをフカフカにあたためられるので、愛用しています。これを使用して、大好きな台湾料理の魯肉飯やスープなど、家庭料理も作ります。とても便利です」と体験を交えてアピールした。

また、台湾の記者より、台湾の男性に嫁ぐ可能性があるか問われると、「台湾エクセレンスの商品のような優れた男性なら大歓迎です」と答え、会場を和ませた。

なお、記者会見には台北駐日経済文化代表処の郭仲熙副代表、同処の周立副組長、日本台湾交流協会の舟町仁志専務理事、東京都政策企画局の松下隆弘理事、「台湾エクセレンス賞」審査委員の押村征二郎氏も出席したほか、サクセス奏者の寺地美穂さんが台湾エクセレンス受賞サクセスを用いて演奏を行った。

同日に合わせて来日したTAITRA本部戦略マーケティング処の陳英顯処長は、台湾の製品は年々製造技術を高めている事をPRしたほか、日本と台湾の製品製造における連携事業の成功例を紹介。台湾は幅広い海外の販売マーケットを持っているため「日本企業の力になる」と強調した。また、その上で今後は日台が協力し、ASEAN地域へ進出していき「より力を入れていきたい」との意向を示した。

田中千絵さん  
台湾“良”製品の魅力語る  
「2017 TAIWAN EXCELLENCE in Tokyo」の開幕に合わせてTAITRAは

台湾製品を見てまわる田中千絵さん



電動アシスト自転車「BESV PSA1」

# 台北市政府観光傳播局が 日本からのインバウンド拡大策



指定ツアー参加の日本人旅行者はプレゼントがもらえる(写真提供:台北市政府)

台北市政府観光傳播局はこのほど、日本の旅行会社H.I.Sとエバー航空が連携し、日本の個人旅行者を台北に誘致する「Feel Taipei ツアー」を6月中旬より開始する事を発表し、現在順調に稼働している。

「Feel Taipei ツアー」は、台北の最新観光スタイルとされる台北市2階建て観光バスを取り入れ、台北の観光地などを通常と異なる角度や高さから眺望できる事が特徴で、人気の要因とされる。さらに同局は今後、様々な関連旅行者とも提携し、日本人旅

行客に一味違った旅行体験を提供する構えでもある。

なお、同ツアーを購入すると、クーポン付きFeel Taipeiガイドブックや台北オリジナル記念グッズがもらえる特典も付いている。さらに、今年はエバー航空もコラボレーションに加わり、キャンペーン価格で航空券を販売するほか、エバー航空の公式ホームページで日本発台北行きの航空券購入者限定に

「旅のしおり」Feel Taipei旅行電子書籍をプレゼントするキャンペーンも実施する予定だ。

同局の簡余晏局長は、「台北市は日本の海外旅行市場を非常に重要視しており、有名人や企業とのコラボを通して、日本人旅行者にさまざまな旅行の体験や視点を伝えたい」と話している。

## 松山市との相互誘客プロジェクト開始

同局は6月2日、友好都市である愛媛県

松山市と共同記者会見を開き、7月1日より相互誘客プロジェクトを開始する、と発表した。相互の都市を訪れる人を対象に記念グッズをプレゼントするもの。松山市の野志克仁市長は、このような形で相互誘客キャンペーンは、松山市として海外の都市を対象とした初めての取り組みであるとし、「台北と松山間の交流人口拡大に取り組んでいる松山市にとって大変有り難い提案であり、今回両市が相互に同時期にキャンペーンを行える事大変うれしく思う」と話した。

一方、台北市は記念イージーカードやトートバッグ、クーポン付きFeel Taipeiガイドブックなどを松山市民にプレゼントし、松山市は3000年の歴史ある道後温泉の温泉の素や記念クリアファイル、さらには道後温泉、松山城、坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館などの割引券を台北市民にプレゼントとする企画を実施する。

また、毎年10月から翌年3月は日本の修学旅行シーズンである事から同局は、全愛媛県の高校に台北への修学旅行の宣伝も行った。今後はより多くの地域で修学旅行のPRを行っていく模様。

# noovy が教える現地のオススメ 観光スポットとグルメ！

“メンバー達がお気に入りの台湾観光スポットとグルメを教えてくださいました。”  
たくさん教えてくれた中で、今回はその1部をご紹介します！



- ～観光編～
- 大佳河濱公園
- 心之芳庭
- 秀姑巒溪
- 萬里桐

## 【台北】大佳河濱公園



台北の観光地は沢山あるけど、たまには公園でゆったりする観光も悪くない。台湾には大佳河濱公園のような自然を感じられる場所がたくさんあって、休日になるとサイクリングやピクニックをする人で賑わっています。暑い真夏の台湾でサイクリングしながら風を感じるのもひとつの手です！

## 【台中】心之芳庭



ここは山や緑に囲まれた愛と幸せの美しい庭園。もともとカッパルのために作られた庭園だけど、現在では自然を感じながらゆったり過ごしたい観光客に人気なんです。庭園の中の「慶典區」エリアには結婚式場が設置されていて、ここで結婚式を挙げるカップルも少なくないそう。

## 【花蓮】秀姑巒溪



台湾の東部に位置し、多くの観光客が美しい景色を見に来る場所。中でも秀姑巒溪という河川が流れており、ここでのラフティングが人気。前半は水流も穏やかで景色も楽しめますが、後半は流れが激しく、気をつけないとボートが転転しちゃいます。あとは岩登りにも挑戦できるので、アクティビティ好きにはピッタリの場所！

## 【墾丁】萬里桐

台湾の最南端に位置し、台湾のハワイとも呼ばれるビーチリゾート地。海水は透き通っており、砂浜もキレイでリゾート気分を味わえる事間違いなし。中でも、「萬里桐」のシュノーケリングが有名で、海を潜ったらたくさんの魚と一緒に泳ぐ事ができます。



## グルメ編



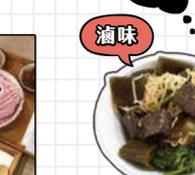
台湾の朝ご飯といったら絶対これ！小麦粉で作った薄い皮に卵を巻いて作る至ってシンプルなもの。豆乳と一緒に頼めばもう現地人！



台湾のフライドチキンで、台湾の夜市や街中屋台でもよく見かけます。タレが染みこんでいて一度食べたら病み付き！



氷の怪物とも呼ばれるこのアイス。台北と台中のお店があり、まっくらくおすけにもよく似たこのアイスが可愛いと評判。



屋台でよく見かける「滷味」。野菜や練り物、海鮮など自分で具材を選び熱湯で茹でた後、醤油ベースの味付けや辛めのソースを加えて食べます。



まずはこれが何か聞かないで食べるのを勧めます(笑)。この正体、もち米に豚の血を加え固めたものなんです。日本人は完全に好き嫌いで分かれるんですが、一度挑戦してみるのもアリかも？



有名な湯圓とふわふわき氷を合わせた話題のスイーツ。温かいスイーツと言われてきた湯圓を180度違った味わいで楽しむことができます。



鶏肉を裂いたものを白いご飯の上に載せて鶏肉から出た煮汁をたっぷりかけた丼飯。タレが特徴的で、このタレがあればご飯何杯でも食べられちゃう！

# 台湾人(百人百色) 胸を張れた女学校生活の裏で〜林素丹さんと黄久芳さん

文：林雅行(映画監督)

宜蘭は台湾北東部に位置する平原にある。台北から高速道路で、1時間で行くことができるようになり、週末は観光客で渋滞する。台湾東海岸は海に迫る絶壁も多いが、宜蘭平原は豊かな穀倉地帯として発展して来た。現在、私は蘇澳の冷泉の開拓者、竹中信景の孫にあたる信子さんを主人公の一人として湾生のドキュメンタリー映画を製作している。蘇澳は宜蘭から車で30分ほどだ。

昭和の初め、蘇澳小学校を卒業した竹中信子さんは汽車で宜蘭にあった蘭陽高女に通学していた。昭和18年春であった。当時、宜蘭県には一つしか高等女学校がなかったため、好奇心に燃える女学生が蘭陽高女に集まった。生徒も日本人と台湾人が半々であったが、台湾人で進学する家庭は少なかった。彼女たちが入学した時、太平洋戦争の戦時体制下にあった。その頃の学校生活を台湾人卒業生に語ってもらった。父が布屋を営み、母が教員だった黄久芳さんは「戦争の下で節約が強調された。学校といっても1年だけ。2年になったら疎開。学校に行っても空襲警報が鳴ると帰宅する。朝10時にはいつも帰ったんです。田舎に疎開する人もいて昭和19年にはみんな散り散りになってしまったという。林素丹さんは3歳の時、父を亡くした。兄弟姉妹8人の子を母親が一人で育てた。「女学校に行く人は珍しかった。普通の家庭ではいけなかった。でも母は私を女学校に通わせてくれた」という。「周りの人が言っていました。女学生はみんな胸を張って歩いていて。何か威張ったように見えたんですかね。」

当時、日本人は小学校に、台湾人は公学校に入学した。台湾人の中でも裕福な家庭などは日本人の小学校に入った。とはいえ1クラスに1〜2人に過ぎなかった。その選りすぐりの台湾人の女子がこぞって蘭陽高女に入ってきた。林「女学校時代は短い時間だったけど人生においてとてもいい思い出と思う。みんな学校で一緒に運動したり、笑ったり歌を歌ったり、楽しんで家に帰る。でも女学校生活は一瞬でした。」

台湾人の中でも恵まれた家庭に育った彼女たちは戦時下の物不足の時代を振り返ってこんな会話をした。林「その時、私たちは配給制だったんです。でも日本人は全部配給の量が多いんです。肉にしても。台湾人の人は(日本人に比べて)量を減らされていました。市場へ行っても日本人が物を買う場所と台湾人が買う場所とは区別されていました」黄「はい。区別されました」林「やっぱりかしら…。でも(日本人の)友達同士はそんな気持ちはない」



林素丹さんと黄久芳さん

黄「全然、私たち友達同士はそんな気持ちはない」林「お母さんたちがね、日本の人はやっぱり待遇が違うと言っていました。それが何か物足りない気持ちでした。」黄「待遇は違いました」日本時代は台湾人も「日本人になること」が強調された。だが日本人と台湾人の間には一線が引かれていて差別があった。日本人の中には優越感があった。その現実を若い眼は見えていたのである。林さんも黄さんも竹中さんと同い年。竹中さんの祖父の工場で作ったラムネのことに話が及ぶと「有名ですよ」と二人は揃って言う。「戦時中は私たちは平常は飲めません。特別な時しか。だから珍しいのです」一瞬の女学校生活。ラムネのように甘酸っぱいのでしょうか。

## More! More! 台湾♡

### 台湾での料理は要注意!



台湾の市場の様子

みなさんは台湾で料理した事がありますか? お店で美味しい台湾料理を食べる事はあっても、自分で調理した事がある人は少ないのではないのでしょうか? 実は私、最近台湾に行った時にお友達のお家に泊めさせて頂いたのですが、着いたその日に「日本料理を作ってお馳走してほしい」とお願いされたのです。びっくり。泊めて頂いている恩もあり、「え、着いたその日に日本料理? 私台湾料理食べるとも言えず、「いいよ!」と返事をしてしまい、みんなでスーパーに買い出しに行く事になりました。私がその時パツと思いついた献立は、大根と鶏肉の煮物、ほうれん草の胡麻和え、オクラのお味噌汁など。材料を調べてメモしていきスーパーへ! しかし、買い物を始めるとある事に気がつきました。「売っているものがめっちゃ台湾風!」。特に野菜は見た事も聞いた事もないような「A菜」とか、めっちゃ長いナスとか、これどうやって調理するんだろう? というものばかりでした。一応、大根と鶏肉、オクラはあったのですが、ほうれん草はいくら探してもなかったのです…。もう諦めてお家に帰り料理開始。出来上がって、いただきま〜す! となった時に友達が一言、「なんか一品足りない感じ」と。さすが台湾人、かなり直接的ですがその通りです。ほうれん草の胡麻和えは野菜がなくて作れなかったのだから…(笑)。しかも、食べ終わってもお腹いっぱいにならなかったようで、追加で目玉焼きをたくさん作って食べてました(笑)。確かに台湾で友達のお家に行ってお飯頂くときは食べきれないほどの量が出てくる…と反省。台湾で友達に料理を振る舞う際はメニュー選びが大切! あと、味も大切ですが、とくに量を沢山作るように気をつけよう! と肝に命じた台湾旅行になりました。

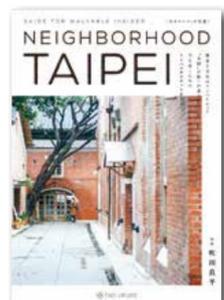


## 台湾を捲る

### NEIGHBORHOOD TAIPEI

台北は狭く凝縮された都市である。だからこそネイバーフッドが緊密に、またあるときはエリアを越えて結びつく。常に流行の最先端に行く「東区」、日本統治時代の酒工場跡にできた複合施設「華山1914」、古さと新しさが調和した「中山」、渋谷区代官山を連想させるおしゃれなエリア「富錦街」、タバコ工場をリノベーションしてつくられた「文創」のプラットフォーム「松山文創園區」、歴史的建造物が数多く残りアメ横にもよく似た「迪化街」、台湾ガイドブックにもあまり出てこない個性的なお店の集まる「六張犁」など、古い文化から新しいものを生み出す考えが根付いているこの7つのエリアのネイバーフッドを取材し台湾の魅力に迫る。

本書は、旅をただの観光で終わらせたくない人のための、一歩先に行くオールカラーの台北ガイド。台北で注目される「街」と「カルチャー」を牽引する先駆者たちを訪ね、彼らの生き方やビジョン、悩みや価値観をありのままに紹介している。古くて美しいものを大切にしながら、新たな文化をつくる彼らの言葉からは、観光スポットや美味しいお店情報以上に、台北の「今の魅力」が見えてくる。彼らの目線にたつて台北を訪れると、きっと様々な場所や人との出会いに関心が高まり、共感したりできるはず。まさに、台北がもっと近くなるトラベルカルチャーガイドブックである。



著：吹田良平  
刊：トゥーヴァージンズ  
本体価格：2000円(税別)  
判型：B5 / ソフトカバー / オールカラー  
頁：128ページ  
発売日：2017/5/31

台湾新聞243号読者プレゼント  
**応募券**

**読者プレゼント企画**  
台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様に本書「NEIGHBORHOOD TAIPEI」をプレゼント致します! 応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(7月中旬に発送予定)。  
締切り：7月15日(消印有効)  
株式会社台湾新聞社編集部  
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

## てくてく台湾旅 ⑱ 夏の屏東の空気を感したい

松田義人(deco / 編集者・ライター)

中1日で台湾とはナメとんか! この時期の台湾は屏東がお勧め!

台湾マニアを自称する僕ですが、空前の台湾ブームということもあり、友だちから「台湾に行くんだけど、どこがお勧め?」といった質問をよく受けます。そういうとき、僕は逆に行く友だちの台湾での滞在期間を聞くわけですが、だいたい中1日とか、多くて中3日という返答が多いです。それを聞く度に、なんでもつたいないと思ったり、「近いからいつでも行けると思って台湾ナメとんか!」とも思うこともあります。せっかくの台湾旅行がたったの中1日となると、だいたい、台北の鼎泰豊で小籠包だけを食べて終わってしまうことが多いからです。鼎泰豊、確かにムチャクチャ美味しいですが、それだけだとあまりにもつたいないのです。せっかく台湾行くのなら最低でも10日はいて欲しい、やはり出来れば全土を巡って欲しいです。『台湾新聞』を読んでくださっている方ならご承知の通り、台湾各地には様々な風土・人種・慣習があり、それらが重なりあつての優しく、アツい雰囲気を生み出しているわけですから。特にこの7月、日本で忙しく過ごしている自分の脳裏に浮かんでくるのが屏東です。個人的に思う、台湾旅行のベストシーズンは5月下旬から7月下旬ですが、特にこの時期の屏東は、アツい朝日と、それを癒してくれるような木々の日陰、そして海の香りもある涼しい風……いかにも台湾らしい空気があります。例えば、中1日の台湾で屏東に行こうと言ったって、まず無理な話です(かなり無理をすれば行けないことはないですが、ほとんど移動で時間が取られてしまう)。つまり、「中1日で小籠包」だと、本当の台湾の良さを感じぬまま日本に帰って行くことになるわけで、それはあまりにも惜しいと思うのです。

高雄の南西に位置し、台湾最南端の屏東ですが、各地域で様々な風土があり、同時に多くの観光スポットがあります。台湾の中で屈指の原住民文化を伝承する・三地門郷文化館。広大な敷地に、原住民式建築が多く設置されていたり、舞踊を楽しんだり出来るスポットですが、実はさらに面白いのは、近隣で暮らす人たちがほぼ原住民ですので、そういう人たちのコミュニケーションです。さらに山を降り、平地を巡れば、客家人が多く暮らす地域もあります。特に萬巒という場所は、静かな住宅地に突然表れる豚足屋さん街で、これは客家人によって流行させた場所。台湾人はもちろん、外国からの観光客も多いです。そして、海のほうへ向かえば、これまた南台湾屈指の漁港・東港があります。ここは小琉球といった離島へ出航するフェリーの玄関口になっている他、マグロ引き上げ漁港としても有名で、そのまま漁港の屋上で刺身を味わえます。ただし、日本人は是非日本の醤油、ワサビを持参してください。台湾の醤油も甘くて美味しいのですが、どうも刺身には合わないように個人的には思います。また、東港のすぐ近くにある東隆宮も寄ってみたい。全くなりげなくギンギラギンの門をくぐると、4年に一度行われる迎王祭の際、海の安全を祈願して焼かれる王船が飾ってあります。この王船を大事に守り続ける人たちの様子を見るだけでも、屏東の風土を感じられるはず。さらに、南に下れば、大ヒット映画『海角七号』の舞台になった恒春、そして最南端のリゾート、墾丁があります。この境界は観光地化しており、台湾らしさ、屏東ならではの空気は薄まりますが、あまりに美しい海は台湾の魅力により広げてくれるはず。というわけで、屏東の話でアツくなる僕なのですが、何故かと言うと、今年はこの時期仕事で忙しく行けそうになく、本当に悔しいからです。この夏、是非台湾に行かれる方、中1日と言わず、なるべく多い滞在期間をつくらせて、屏東に行ってみてください。



東隆宮に常設されている王船

## Photo de TAIWAN 第七回

台湾在住20年写真家・熊谷俊之

### 漁光島の夕日 台南

北部で夕日と言えば淡水が有名ですが、台南ではここ安平地区が有名ですね。撮影当時はちょうど自分たちでお互いの写真を撮っていた大学生がいたので、その場でお願いしたらみなさん快諾してくれました。最初はなかなか全員のタイミングが合いませんでしたが、若いから全然疲れた様子もなく、何回も楽しそうに跳んでくれました。撮影日時：2016年8月



※本年より新たに写真で台湾を伝えるコーナー「Photo de TAIWAN」が始まりました。台湾在住20年の日本人写真家・熊谷さんの写真を通じて、まだ知らない台湾を発見してみてください!

## 台湾語で もっと台湾

台湾では中国語の他に、台湾語も広く使用されています。台湾特有の言葉を覚えて台湾への理解を深めましょう!

～日の呼び方編～

台湾語：ギナリ	台湾語：ザン
日本語：今日	日本語：昨日
中国語：ジんティエン(今天)	中国語：ゾウティエン(昨天)
台湾語：ミヤザイ	
日本語：明日	
中国語：ミンティエン(明天)	

※台湾語は地域により様々な言い回しがあります。同コーナーでは一般的に良く使われる台湾語をカタカナで紹介しております。



# Meet Colors! 台湾 無敵のブルー

## カラフルな台湾を探しに行こう!!



### 石門国際 9月-10月 凧揚げフェスティバル



住所 新北市石門区 URL <https://www.facebook.com/ntpc.kite/>  
2000年より毎年9-10月、石門区の風箏公園には国内外から凧揚げ名人が集まる「石門国際凧揚げフェスティバル」が開催されています。青い空にはさまざまな国のバラエティに富んだ凧がいっぱい揚げられ、絶景です。大自然と親しむ事ができるでしょう!台湾の伝統的な凧は、竹ひごと綿製の紙で作られていますが、時代の移り変わりに伴い、現在ではビニール布かナイロン布を使って作られることが多くなっています。雨にぬれても丈夫で、耐久性もあります。またデザインも平面的なものから雄々しい竜やムカデのような立体的なものまであります。

## TAIWAN BLUE

**藍白拖**  
台湾では欠かせない伝統スリッパ



**繡球花**  
台湾の紫陽花。今がちょうど見頃です!



**バタフライピー**  
バタフライピーという青の植物を使用しているため、身体にも優しく、見た目に楽しいドリンク。今、台湾で大人気!



**科学麵**  
台湾人なら誰もが知っているインスタント麺。お湯をかけても良い、砕いてベビースターのようにしても良い!小分けのお菓子タイプもあり、バラ撒きお土産としても人気です。



**台湾藍鶯**  
台湾固有種の天然記念物の一種



**一ロメモ**  
台湾固有種のスズメ目カラス科の鳥。長大な尾を持ち、頭部は黒、胴体と翼は濃い青、尾の先端に白い部分があり、くちばしと足は真紅。

**普通特快車**  
台湾屏東枋寮郷の枋寮駅から台東市台東駅の台東線を繋ぐ南迴線を走る台湾伝統のローカル電車。



### 台北 藍色公路 ランスーゴンルー

藍色公路(ブルーライン)は大稻埕から漁人埠頭を結ぶ水上観光コース。ここでの船旅は、美しい景色、豊かな自然を満喫できるロマンチックな雰囲気デートスポットとしても人気です。埠頭にある美しいベイブリッジ(情人橋=恋人橋)は、夜になると青、緑、オレンジ、赤に変化しながら美しくライトアップされます。また、夕方にベイブリッジから見る夕陽はまた格別です!



藍色公路ミニトリップ <https://www.riverfun.net/>

### 台北 四四南村 スースーナンツン

台北101から徒歩約5分にある「四四南村」。ここはかつて軍人たちの生活場所、現在は文化遺産保全地区とされています。歴史的な建造物がリノベーションされ、今ではおしゃれなカフェや雑貨店が集まる若者に人気の観光地。中でも、ひと昔前にあったような電化製品、日用品などが当時の生活の様子を展示する眷村博物館は、タイムスリップした気分になります。台北101も良く見え、写真撮影にもオススメなスポット。



住所: 台北市信義区松勤街50号 営業時間: 9:00~17:00  
電話: (02)2723-7937(信義公民会館) 休館日: 月曜と祝日

### 南投 日月潭 リーユエタン

台湾3大観光地の1つで、最大の淡水湖。深緑の湖は、朝、昼、夜と違う景色を見せてくれます。湖畔を周遊する遊覧船に乗るのもよし、CNNトラベルの「世界で最も美しいサイクリングロード10選」に選ばれ、ロンリープラネットでも報道された日月潭一周サイクリングロードで風に吹かれながらサイクリングを楽しむのもよし!また新たな台湾に出会うことができます。



日月潭国家風景区 <http://www.sunmoonlake.gov.tw/>



嘉義

### 布袋高跟鞋教堂 ブーダイガオグンシェージャオタン

嘉義県の海岸線にある、ひときわ目立ったハイヒール型の巨大な教会「高跟鞋教堂」。「世界最大のハイヒール型建築物」としてギネス世界記録にも認定されています。奥行き25.16メートル、横幅11.91メートル、高さ17.76メートルの高跟鞋教堂は、1,296本のステンレスパイプと320枚の青いガラスで構成されていて、朝、昼、夜とそれぞれ違った魅力が感じられます。

住所: 嘉義県布袋鎮海興街6号  
電話: (06)786-1000  
(嘉義南濱海国家風景区管理処)  
営業時間: 09:00~17:00  
休業日: 年中無休

### 馬祖 藍眼泪 ランイエンレイ

馬祖列島は台湾西北方遼沖合にある台湾の島。春と夏が交錯する頃には海面上に発生する生態現象「藍眼泪」を見る事ができます。これは、夜間水中である種の海洋微生物が波の刺激を受け、淡い青色の蛍光を発する事で海が青く光って見えるというなんとも神秘的な光景です。



観賞可能月: 4~8月 観賞場所: 南竿、北竿、莒光、東引島  
※観賞には条件が整う事が必要です。状況によっては鑑賞できない事もあります。



## Taiwan 台湾観光局

THE HEART OF ASIA



[m.taiwan.net.tw](http://m.taiwan.net.tw)



[go-taiwan.net](http://go-taiwan.net)

台湾見つけ!

台湾観光情報やイベント情報配信中!

台湾観光協会 東京事務所 〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-8 川手ビル3階 TEL.03-3501-3591 FAX.03-3501-3586  
大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル6階 TEL.06-6316-7491 FAX.06-6316-7398  
中部連絡所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-19-14 林敬ビル4階 TEL.052-684-8188 FAX.052-684-8189